

# 誰もがいずれば災害弱者 2013

= あれから・・・いつのまにか災害弱者 =

— 不慮死に巻き込まれないための考察 —

防災・生活安全 我聞(がもん)塾  
防災アドバイザー 佐藤 榮一

## ◎ はじめに

残念無念、またまた被害は高齢者

老いの一徹、殉難者作る。要援護者こそ『**率先避難者**』になろう

死なないために、道連れにされないために

今回の講座は、災害において生命を失った方、助かった方たちの根本的な理由を分析してみてもたどりついたことについてお話しいたします。

私の本業ともいえる『クライシスマネジメント』※1の基本が『時間の利得(メリット)』なのですが、これを防災減災・生命確保の基本として適用し、時間軸で考える防災を説くことが必要だと考えました。

もう一点は、『想定外想定』です。この言葉は、国語的にはありえない表現と批判されながらも私の『リスクマネジメント』※2の基本理念として約50年間信じてきました。

最近、『正常性バイアス』※3という言葉を見聞きしますがこの正常性バイアスを打ち破るのがこの『想定外想定』※4思考なのです。想定外想定を簡単に言うとマサカをモシカに、と考えることを言うのですが、このように考えなければならないことは、私たちの生活の中にたくさんあると思います。

日常は、想定外想定をしていては暮らしてはいけません。日常の中で言う想定は『合理的想定』で十分だと考えますが、時々モシカと不安を感じ、対策を考えるライフスタイルが必要です。

今日は、この二点についてタイトルの防災・減災に照合しながら話してみます。

※1 クライシスマネジメント: リスクマネジメントの過程の一部分で、事象が発生した時点からの危機管理。

※2 リスクマネジメント: わが国では危機管理全般を言う。狭義には事前計画的危機管理を言う。

※3 正常性バイアス: bias【先入観・偏見】、で固着した自己中心の『自分は正常』と信じている感覚。

危険状態にありながらも安全であると考え、認知不全の感覚。恒常性バイアスとも。

※4 想定外想定: 合理的想定を行い、その合理的想定を超える事象を言う。危機管理上はカタストロフィー(大惨劇)マネジメントと称する。(これらは佐藤の造語です)

## 時間の利得と時間の損失

事象が発生した瞬間から危害を受けるまでの時間は様々ですが、自然災害においては時間差があります。その時間の長さに応じて危害回避の行動をとることができます。

その行動は知識と技術に裏付けされた自覚が必要です。

### 1 3.5 秒：阪神淡路大震災の初期微動時間です。

瞬間的に起床し、周囲を見回した。炬燵から抜け出した。身構えた。  
朝食調理の火を消し、鍋から離れた。

### 2 10 秒：緊急地震速報（0 秒から 20 秒くらいではあるが）

ガラス窓から離れた。机やテーブルの下にもぐった。子どもを保護した。  
鉄扉を開けた。大型家具から離れた。シェークアウトトレーニングしている。  
全員でテンカウントダウンを大声で行う。

### 3 30 秒：関東大震災の初期微動時間です

調理の火を消した。庭に出た。竹やぶに避難した。子どもを保護した。  
雨具を持たせて庭に避難した。（細郷元市長の母堂、江戸の大震災想定）

### 4 60 秒：水難、火災事故での呼吸停止の一般的な限界

濃煙の中、事前確認しておいた非常口目指して走った。  
水没車両、時間の限界を計算して空気を吸い込み窓ガラスを開けた。

### 5 3 分：多くの地震の最大震度とその前後の時間帯

次に起こることを予想した。周囲を見回し家族に声をかけた。  
屋外に出る経路を確認していた。

### 6 30 分：311 大津波の到達時間（宮城県海岸）

#### 50 分；311 大津波の到達時間（石巻市大川小学校）

過去の地震津波を知っていた。津波訓練に参加したことがある。  
地震避難所と津波避難所は別だと家族や隣人たちと話し合っていた。  
高齢者避難は、訓練中から課題となっていて地域総出で誘導した。  
中学生が中心となって、小学生、高齢者全員無事の避難をした。

### 7 0.01 秒：311 落下物回避（横浜市関内）

ビルの外壁が剥離した事故で下敷きにならずに済んだ人、伝聞によると  
髪の毛に落下してきた瓦礫が触った感じがした。あと 0.01 秒遅れたら…。

このように、時間の利得（メリット）を活用した人、できた人、幸運だった人、様々です。7 はともかく、1 も 2 も訓練しただいでこの短い時間を活用できると思います。多くの人は、緊急地震速報の時間が短くて何もできないのにパニックをあおるだけと言っていますが 10 秒しか無いではなく 10 秒もあると考えるべきだと思います。

ましてや、東日本大震災の大津波では、大きな時間の利得があったのにそれを生かせなかったのかとくやしさが残ります。普段から小さな地震でも油断せずに、時間を損失しないような初動対応行動を取るべきと考えます。

## 家族のための想定外想定の一例 真の帰宅困難を考察しよう

帰宅困難者対策として行政が方針らしきものを出していることは、働く人たちが帰宅できないことを大前提のもとに時差退社だとか事業継続計画参加だとかに終始しているように感じます。果たしてそうか？と言わなければならない。それは、究極の大災害になったとき、子どもたちは、女性たちは？高齢者たちは安全に家に帰り着くのかどうなのか。行政も地域も当事者も真剣にかつ具体的に想定して考えなければならない。

例えば、完全停電が発生する。照明が消えた都会の夜をイメージしてみましょう。真の暗闇がおきます。一步踏み出すのが怖いような闇の中で子どもは、女性は、そして高齢者はどのようにして帰宅するのでしょうか。311では、仙台市内がそのような恐怖に襲われたと聞きました。非常照明が点いている高層ビルに集まりましたと言っています。恐怖感も正常性バイアス論にかき消されてこの平和で公德心の高い日本に心配などあるものか。変な老婆心やとりこし苦勞がデマやパニックを招くのだと主張する者たちが出てくる。私は、モシカしたらと考える。真の暗闇対策は子どもや女性たちに自衛させるよりほかに方法は無いのかもしれない。いわれるまでもなく私自身は、40年近く自分の子供たちには自衛することの必要性と精神教育をしてきた。今では、娘たちの考えや行動が早くも孫たち（3歳5歳）に伝わっていることが感じられる今日この頃です。

子どもたちが大人たちの正常性バイアスの犠牲にならぬよう社会の仕組みを作らなければならない。阪神のレイプ事件、東北の遺体損壊貴金属窃取事件など、女性団体や遺族団体などにデマを拡散しているなどと糾弾的姿勢や無視する姿勢を取り続ける機関はそれぞれの公刊資料や広報資料を活用して否定を表明すべきであると思うがいかがか。

以下のレジメで防災講話をするところでしたが、上記のことを基本のご理解いただいたうえで聞いていただくほうが効果が上がると考えました。

レジメはお目通しいただくだけでご理解いただけるよう文字数をできるだけ増やしております。

項目の頭の ★ は、時間の利得、時間の損失  
☆ は、誤れる自己判断（正常性バイアス）  
に関わることと読み取ってください。

### 1 東日本大震災から

#### 1) 東日本大震災で起きたこと

- ☆・ 懸念が現実となった被害（明治三陸大津波、宮城県沖地震の巨大化再来）
- ☆・ 教訓や伝承そして史実を持ちながら生かせなかった被害。（活かした人は助かった）
  - ・ 無策の国策が足かせになり復興策が見えない被害
- ★・ そしてまた、高齢者の被害。さらに巻き添え、道連れ被害が新たに・・・。

Q. 震度6強と震度7は、違うか？

A. 震度7の揺れは震度6とは全く違う。建物は割れる。潰れる。家具や物品は落ちるのでなく横に飛ぶ。キャスター付きの重量家具が走り回る。などなど。

2) 東日本大震災を考察する

・ 先人の教訓を生かした地域、

☆ ○ 「ここより下に家を建てるな」を、「ここより上に避難せよ」(現実直視)

★ ○ 中学生は間もなく大人(教育効果) 【釜石の奇跡】

★ ○ 生命をかけた<sup>おきらい</sup>越喜来小学校避難橋 (発案者の使命感・覚悟)

・ 生かせなかった地域

★ ○ 大川小学校の悲劇 「山は山であって高台ではない。」

避難をめぐる小田原評定、約1時間。

★ ○ 防潮扉、水門は錆びつき、停電で動かず。手動でも動かず。

○ 末の松山伝説、波切神社、津波石など伝説を軽視したための被害

○ 『時間の利得』を生かせなかった。無知、傲慢、怠惰、自己中心

・ 私たち、横浜市民が3・11からいただく教訓とは

○ 関東大震災被害の再発防止

14万2千800人死亡、うち、約12万人が焼死。延焼3日間。

○ 大震災とは、地震との複合災害をいう。

過去3つの大震災

① 関東大震災 建物倒壊、大火災 焼死

② 阪神淡路大震災 建物倒壊、インフラ崩壊 圧死

③ 東日本大震災 大津波・原発爆発 溺死

Q. あなたの町の危険度は？

A. 将来の被害形態は、三大震災の被害が複合して起きる可能性が有る。

山側居住でも安心できない。生活圏としての被害も考えよう 焼死、圧死、溺死

対応 : 住宅耐震化、家具転倒防止、素早い消火、素早く避難、隣近所の助け合い

3) 3・11 横浜市内で起きたこと

・ 深刻被害は横浜にも起きた

ビル・建物破損 (横浜駅西口・関内・小机・金沢)

地盤液状化 (市内各地)

津波 (湘南海岸・西湘海岸・東京湾・横浜港・河川潮流)

帰宅困難 (市内各地、全県的)

児童、在宅療養者の孤立 (市内各地、全県的)

企業の社会貢献 (市内各地、全県的)

・ 生活圏の被害と家族の安全策を考える

例えば、山側地域、高台は津波に対して安全か? . . . . . ×です

通勤、通学、通院、買い物、レジャーなど

## 2 国・県・市 防災行政は変わった

### 1) なにが？ どのように？

- ・ 学校を『地域防災拠点』化、する（文科省指針）
- ・ 帰宅困難者対策の具体化（内閣府・経産省・国交省等）
- ・ 帰宅困難者対策の具体化 企業・労働者を対象とした対策だけでは不十分。  
女性・子ども・高齢者の帰宅困難対策を。 多摩川をどうやって渡る？
- ・ 実質的な自助・共助体制の確立、互助思想の普及を  
震度7では本当の自助が必要、  
当初、共助は求められない。 共助活動参加者の圧倒的減少が起きる。

### 2) 私たちの横浜市では？

- ・ 地域防災拠点・自主防災組織の役割を明確化（平成25年度改定）  
今年、拠点避難所、中間的避難所 一時避難場所 の在り方が明確になる。
- ・ 居宅・在宅避難推奨への市長コミットメント（公言を求む）
- ☆・ 帰宅困難者対策 学童留め置き・在宅要介護者対策の地域取り組み
- ・ もう、すでに実施してきたではないか!! だが、しかし、温度差激しい。
- ☆・ 遠地地震津波、生活圏を脅かす。  
横浜にも津波被害はある。海抜1メートル地帯。工場地帯。  
汽水域（各河川河口付近干満有）被害、朔流被害、地下施設被害、津波火災

Q. 地域防災活動を有効にすることは何か

- A. 1 自主防災組織、一時避難場所（防災組織最小単位）を大切にすること。  
個人情報への考え方を正常に戻すこと。  
法令は禁止してない（政府広報）。足かせは誰だ。（個人情報とは）（法令改正）  
助けてくださいと表現していることをお忘れ無きよう。（手を挙げた人とは社会契約成立）
- A. 2 自治会未加入、脱退を防ごう。  
自治会活動、民生児童委員活動を積極的に広報をし、正しく理解させる。  
名誉職、権威職と思っている人が多い。  
通称の『民生委員』には『児童』が抜けている。（若い人達が身近に感じない理由）
- A. 3 自治会名簿、要援護者名簿、支援可能者名簿は絶対必要である  
復旧活動を行う中で、「おい」や「あんた」では、よい活動はできない。  
また、地域活動団体間は、連携（ネット化）し、協働（コラボレーション）すべきである。  
そのデータベースはデジタルとアナログ、両方必要である。

## 3 今、何が問題か

### 1) 当面、首都圏直下型地震、震度7への懸念

- ・ 震度7は、震度6強、弱とは全く違う。  
例えば、地盤が崩れる、建物が割れる、家具が飛ぶ
- ★ ○ 家屋耐震診断、耐震改修は、基本の『き』
- ★ ○ 家具転倒防止 耐震家具の使用

- ★ ○ 移動防止 【キャスター（車輪）付きの家具、道具に注意】
- 2) 横浜港津波の課題（外洋津波・内湾津波・河川溯流）
  - ☆・ 山手・高台だから安心、は当たらない 市民全体・生活圏の課題だ
    - ・ 沿岸埋め立て地の冠水、工業・流通業等のマヒ、雇用、失業問題など
    - ・ 多大な経済損失による市政の疲弊・市民生活の窮乏
- 3) 地域意識・住民意識の温度差
  - ・ 『意識の在り方のバロメーター』避難所（地域防災拠点）運営
  - ・ 自治会未加入者・脱退者の増加の危険
    - 震災後、加入率増加の例も・・・
- ☆・ 防災拠点に炊飯機はあっても米はない。
  - 「おにぎりどうぞ」か「おにぎり恵んでください」か、あなたはどちら？
- ☆・ 大規模共同住宅・高層住宅の相変わらずの『安心神話』
  - 『地震後生活被害』を考えていますか 停電、E V停止、断水、排水不能
- 4) 横浜で起きてほしくない、私が心配すること
  - ・ 実は、震度4でも都市生活被害を体験している（例：交通マヒ、通信マヒ等）
  - ・ 帰宅困難者対策としてのBCP、残る子供は『学童留め置き』でよいのか？
    - 共働き、家族の帰宅を一人で待つ『在宅要介護者』はどうなる？
    - 帰宅困難者対策の具体化
- ★・ 名古屋市台風、87万人に避難指示 従えば、殺到・大混乱、住民懸念
  - 避難勧告（お勧めします）、避難指示（しなさい）、の軽重、逆認識
  - 『避難命令』は行政用語には無い。
  - ・ 避難所運営破綻のシナリオ。 『殺到、混乱、負荷超過、破局』
    - 『破局型、避難所運営シミュレーション』で理解できる『在宅避難』の大切
- ★・ 放射能避難、汚染方向と一致した避難方向指示
  - 政府は方向を示してないと弁明、しかし各市町村は「北西方向に避難」と合致
- ★・ スピーディー・Jアラート本当に不作動なの？ あってはならない『国民不在』
- ☆・ コンビナート火災、あの黒煙は有害ガスと認識しよう。

#### 4 『天は、自ら助くるものを助く』（自助論） サミュエル・スマイルズ【英】

- 1) 本当の自助とは、
  - 自立、自衛、自愛、自為、自益、そして『家族を守る、家族のために』
- ☆・ 本当の自助が有って、有効な互助・共助体制が成り立つ
  - ・ 本当の共助とは『互助』ではないか。
- ☆・ 若し、避難所運営が失敗したとしてもそれは誰の責任でもない。
  - ・ 『津波テンデンコ』とは、我先にとか自分勝手にというのではない。
  - ・ 防災・減災について“自習”しよう。
    - 時間の利得と時間の損失
    - 自己中心型判断基準（正常性バイアス）の見直し

Q. 最低限の持ち出し品は何か？

パンフレットに掲載されている一般的な物のほかに下記のことには注意をする。

日常何気なく使っているものが忘れられがちです。

常用薬、メガネ、入れ歯、補聴器、杖、足元、衣類

高価で予備品が揃えられない。車いす、介護ベッドなど

Q. 隣人として最も重要なことは？

A. 『助ける人』である。 隣の人『助けられる人』に対する啓発は大切である。

老いの一徹解消、率先避難者になろう、道連れになるな、普段を大切に、これらを共有

3・11私の調査では、テレビを押さええていた、窓を開け隣家を確認した。

現地のある民生児童委員は、受け持ちの人、十数人を津波で失った。(時間の損失)

Q. 避難所で起きる不都合はどのようなことか？

A. 収容人員の問題があります。小学校体育館は約480㎡です。座布団1枚分位に座った人で480人一家4人が寝るとすると4㎡で120世帯、通路を設定するともっと少なくなります。

夕方や夜に発生すると家が無事な人も不安で集まってくると思います。対応策が必要です。

Q. 高齢者、障害者など要援護者はどうなるのか？

A. 寝た状態で生活している人が避難をしてきた場合には治療などを必要としなくてもスペース的に困難になります。健常者が先に占有してしまうと要援護者の入る余地がなくなります。避難所運営協議会は要援護者情報を普段から把握しておくべきと思います。また収容スペースのほかにその人に合った医療器具やサポートする人たちが必要になります。一か所の防災拠点運営協議会や一区の問題ではないと思います。電気、酸素、薬剤、補装具、ベッドなど。

(二葉町病院の高齢者は体育館に避難してその後医療不備で40人余が亡くなりました。)

Q. これからの避難所運営で気をつけなければならないことは何か？

A. 津波の想定が変わりましたので津波浸水区域にある防災拠点はなんらかの変更を余儀なくされることになると思います。暫定的に従来通りとしなければならないところも津波警報によりどのような対応をしなければならないかシミュレーションをしなければなりません。仙台市の海岸地帯の避難所では津波に襲われ校舎3階に移動できた人たちは助かりましたが人手不足で移動できなかった高齢者たち多数は無くなりました。

Q. 高齢避難者にとってあったら良かったものは何か？

A. 時期にもよりますが311では湯たんぽと毛布でした。湯たんぽの正規品がない時は、ペットボトル、一升瓶、ビール瓶、ポリ携行缶、ポリ袋など液体が入る物は何でもとアドバイスしました。どうしても何もない所には、焼き石を勧めました。いずれもやけどに十分注意をすることです。毛布は支給されるものと思っている人が阪神以来相変わらず多いですね。毛布は自宅から持ち出すのが確実です。毛布、夏掛けなどを真空パックにしておくとも非常持ち出し袋で管理できます。

A2 夏の期間、喜ばれた物は、霧吹きスプレーです。私は水の少ない所に手洗い用として携行していきました。避難所で30人の赤ちゃんのオムツかぶれのおしりを洗ってあげました。その後高齢者のオシメ使用者たちも持つようになったとのこと。後日の訪問で「夜泣きしなくなりました」と感謝の言葉をいただきました。

防災アドバイザー 佐藤 榮一 の 防災コラム集

検索キーワード『保土ヶ谷防災ボラ』、ホームページ(毎月更新)に佐藤の防災コラムを掲載しております。

約2年分のバックナンバーも読めます。お目通しください。

## 『防災カンバセーション』について

昨年も実施しましたが、ご出席の皆さんとパネラーの皆さんと防災に関してトークセッションをしましょう。ファシリテーターは私が務めます。

皆さんの質問をきっかけにして話の幅と奥行きを広めたいと考えています。

ただし今回は質疑応答の時間を利用するので非常に短く十分ではありませんが、このような研修方法があるのだということをご理解いただき、区民会議に参画する意識と人の輪が広がっていく感覚を捕まえてください。本格的に行えればビッグデータのようになります。

### MEMO

**ご清聴、ご協力ありがとうございました。** 伊藤・常光・佐藤・事務局